

会計名		家庭教育地域推進事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	生涯学習課		
款	項					目	担当係	青少年係	
10	5					1			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	核家族化が進み、子どもへの接し方がわからないと不安を抱える親が増加している現状に対し、各種事業を地域において実施することで、家庭や地域の教育力の向上を図る。			主たる内容	○小学校区家庭教育推進協議会の実施			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		東刈谷小学校区家庭教育地域推進事業 ・心肺蘇生法、AEDの使い方 ・あいさつ交通安全運動 ・アルミ缶、ペットボトルキャップ回収 ・親父の会企画「オータムスクール」「卒業生へのバルーンアート」		富士松東小学校区家庭教育地域推進事業 ・災害対策訓練 ・あいさつ交通安全運動 ・アルミ缶、ペットボトルキャップ回収 ・創立40周年記念富東っ子音楽会		富士松東小学校区家庭教育地域推進事業 ・災害対策訓練 ・あいさつ交通安全運動 ・アルミ缶、ペットボトルキャップ回収 ・富東っ子観劇会		日高、富士松北、双葉小学校区家庭教育地域推進事業	
成果		学校、家庭、地域が協力して家庭教育地域活動、親子等ふれあい活動を行い、家庭教育への意識の高揚が図られた。							
課題		新型コロナウイルス感染症の影響を見極めつつ、内容を工夫する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		家庭教育地域推進事業延べ参加者数（人）			1,380	1,610	1,641	1,800	1,800
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		270	270	270	270	合計	270,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	270,000 円	
		一般財源	270	270	270	270			
	職員人件費 ②		224	76	301	77			
	総事業費（①+②）		494	346	571	347			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			家庭教育地域推進事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	5	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	災害対策訓練や交通安全運動など、教育上重要かつ社会需要が高い内容の事業を実施することができている。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	代表となる小学校区の家庭教育推進協議会に委託することで、学校、家庭、地域が協力して事業を実施することができるため、最適な手段である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	行事開催のため、学校、家庭、地域が連携して実施する必要があるため、市が主体となって実施することは妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	個々の家庭が協力し合い、学校や地域と一丸となって家庭教育を実施するため、施策への貢献度は高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
家庭及び地域の教育力を高めるため、引続き代表となる小学校区を対象に家庭教育地域活動や親子等ふれ合い活動を実施する。					

会計名 一般会計			市民講座開設等事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	5	1					担当係	推進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習機会の充実						
	目的	南部生涯学習センターと北部生涯学習センターにおいて、各種市民向け講座を行い、市民の学習意欲の向上や学習活動への参加促進を図る。			主たる内容	○市民講座の開催 ・連続講座 ・パソコン講座 ・タブレット講座 ・1DAY講座			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令							
		対象者	市内在住・在勤または在学の人			事業期間	～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・南部生涯学習センター市民講座 10講座87人受講 ・北部生涯学習センター市民講座 13講座103人受講 ・南部生涯学習センター1DAY講座 5講座32人受講 ・北部生涯学習センター1DAY講座 5講座36人受講		・南部生涯学習センター市民講座 16講座141人受講 ・北部生涯学習センター市民講座 20講座161人受講 ・南部生涯学習センター1DAY講座 6講座46人受講 ・北部生涯学習センター1DAY講座 5講座43人受講		・南部生涯学習センター市民講座 16講座130人受講 ・北部生涯学習センター市民講座 20講座166人受講 ・南部生涯学習センター1DAY講座 5講座38人受講 ・北部生涯学習センター1DAY講座 5講座53人受講		・南部生涯学習センター市民講座 16講座 ・北部生涯学習センター市民講座 20講座 ・南部生涯学習センター1DAY講座 5講座 ・北部生涯学習センター1DAY講座 5講座	
成果		・今まで実施したことのないジャンルの講座を積極的に企画・実施し、市民が学ぶ意欲を向上させることができた。 ・指導者名簿の中から講師を探すなど、新たに市民講座の講師として活躍の場を提供することができた。							
課題		・講座内容をマンネリ化させず、市民が受講したいと思える魅力ある講座を企画していけるように工夫していく必要がある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
活動指標	講座の年間受講者数（人）	2年度	3年度	4年度	5年度	7年度			
活動指標		258	391	387	440	600			
他市との比較検証	各市の講座実施実績より 安城市：公民館講座（10公民館） 163講座、1,910人参加 碧南市：文化教室 36講座、383人参加								
C 事業コスト V	単位：千円	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①	21,667	25,656	25,682	26,789	合計	25,682,020 円		
	財源	特定財源	448	680	636	1,384	委託料	24,928,200 円	
		一般財源	21,219	24,976	25,046	25,405	使用料及び賃借料	753,820 円	
	職員人件費 ②	2,762	2,196	2,108	0				
	総事業費（①+②）	24,429	27,852	27,790	26,789				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		講座受講料					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			市民講座開設等事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	推進係
10	5	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動の支援をしており、事業の必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	各種講座を開催することにより、市民への多様な学習プログラムの提供、学習意欲の一層の向上、参加の促進を効率的に図っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	時代の潮流や市民ニーズに対応したプログラムの提供など、市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	各種講座を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、南部及び北部生涯学習センターにおいて多彩な内容による講座を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに生涯学習活動への参加を促進していく。					

会計名 一般会計			市民館施設管理事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	5	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	指定管理者により、適切な施設の管理運営を行い、地域活動の活性化及び生涯学習の推進を図る。	主たる内容	○市民館の管理運営 ○AEDの設置					
	位置づけ	関連計画		刈谷市生涯学習推進計画					
		根拠法令		刈谷市コミュニティ施設条例、刈谷市市民館施設維持管理要綱					
		対象者	市民	事業期間	昭和61年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設又は設備の修繕</li> <li>樹木剪定委託</li> <li>指定管理料（全23館）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設又は設備の修繕</li> <li>樹木剪定委託</li> <li>指定管理料（全23館）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設又は設備の修繕</li> <li>樹木剪定委託</li> <li>指定管理料（全23館）</li> <li>AEDの設置（全23館）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設又は設備の修繕</li> <li>樹木剪定委託</li> <li>指定管理料（全23館）</li> </ul>	
成果		指定管理者である各市民館運営委員会からの報告や経年劣化状況を踏まえ、施設の修繕や樹木の剪定を行い、環境美化を図った。また、AEDを設置することにより、利用者の安心を確保することができた。							
課題		今後とも地域の実情に応じ、地域に愛される市民館として、適切に施設の管理運営を実施するため、指定管理者である各市民館運営委員会との連携を密にし、施設の状況把握に努める。							
指標		指標名称（単位）		実績値			目標値		
成果指標	利用者満足度（％）		2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
指標			95.7	95.7	91.3	90.0	90.0		
他市との比較検証	類似事例なし								
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費①		25,772	27,463	34,163	31,012	合計	34,163,457円	
	財源	特定財源	21	29	26	255	需用費	3,377,088円	
		一般財源	25,751	27,434	34,137	30,757	役務費	179,566円	
	職員人件費②		2,203	1,476	1,468	2,258	委託料	24,949,723円	
	総事業費（①+②）		27,975	28,939	35,631	33,270	使用料及び賃借料	858,000円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料					
6年度以降の事業費見込		0							
						備品購入費	4,799,080円		

会計名			市民館施設管理事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	施設係
10	5	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	地域におけるコミュニティ活動の拠点施設であり、その適切な維持管理を図り、利用者の安心・安全を確保する上で必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		普通	指定管理料は、施設の維持管理に必要となる経費に限って算定しており、適切なコストによる管理運営が図られている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	市民館は市が所有する公共施設であり、指定管理者と連携の上、適切に管理している。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	市民館を安定的に利用可能な状態に維持することを目的としており、今後も市民サービスの低下を招かないよう管理する必要がある。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き日頃から指定管理者である各市民館運営委員会と連携を図り、施設の状況を常に把握できるように努めていく必要がある。					

会計名 一般会計			市民館施設改修事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	5	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	市民館の施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。 また、市民館の照明器具のLED化をすることで、維持管理費の節減、低炭素社会への貢献及び照度改善による利用者満足度の向上を図る。				主たる内容	○施設又は設備の改修工事 ○施設又は設備の修繕			
	位置づけ	関連計画 刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市公共施設等総合管理計画、刈谷市公共施設維持保全計画 根拠法令 刈谷市コミュニティ施設条例、刈谷市市民館施設整備要綱								
	対象者	市民				事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 D 実績 O 計画 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・外壁改修 刈谷東部市民館 ・便所改修 ・畳表替修繕 高津波、重原、今岡、築地、小垣江市民館 (R1繰越分) ・空調設備の改修 刈谷中部、今川、東刈谷市民館		・便所改修 井ヶ谷、今岡、一里山、刈谷西部、小垣江、高須、桜、今川市民館		・外壁改修 東境、小垣江市民館 ・照明器具LED化 LED化済の西境、野田市民館を除く21市民館 (R3繰越分) ・空調設備の改修 東境、小垣江市民館		(R4繰越分) ・外壁、屋根改修 井ヶ谷、今岡、重原、熊市民館		
		成果	公共施設維持保全計画及び指定管理者である各市民館運営委員会との補修箇所の協議に基づき、施設又は設備の改修を行い、適切な施設の維持管理を行った。							
課題		空調機については、各市民館の建設年次及び空調機の設置年次からの経過年数を基に取替計画を策定し、各市民館運営委員会からの故障・不具合報告を踏まえ、計画的に実施する。今後、経年劣化により設備の不具合の増加も予想されることから、常に各市民館の状況を把握していく必要がある。								
O 計画 V	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
	活動指標	外壁改修率（％）			63.6	63.6	72.7	90.9	100	
	活動指標	照明器具LED化率（％）			8.7	8.7	100.0	—	—	
他市との比較検証	類似事例なし									
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①		29,634	6,364	101,280	55,000	合計	101,280,300 円		
	財源	特定財源	12,327	0	11,352	55,000	工事請負費	101,280,300 円		
		一般財源	17,307	6,364	89,928	0				
	職員人件費 ②		1,605	946	339	268				
	総事業費（①+②）		31,239	7,310	101,619	55,268				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		令和3年度からの繰越金						
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			市民館施設改修事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	施設係
10	5	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	市民館は地域コミュニティの活動の場であり、多くの地域サークル、地区、公民館の活動に利用されている。施設や設備の老朽化に伴う改修を行うことは、施設を安全に利用していく上で必要であり、コミュニティ活動の促進につながっている。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	公共施設維持保全計画に沿って、施設や設備の改修を計画的に行っており、予防保全の考え方から、施設の長寿命化が図られ、長期的な視点でのコスト節減を図っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	市民館は市が所有する公共施設であり、市が主体となって改修を行う必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	市民館を安定的に利用可能な状態に維持することを目的としており、今後も市民サービスの低下を招かないよう管理する必要がある。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
市民館を含め、市全体として公共施設維持保全計画が策定されており、今後も計画に沿った施設や設備の改修を実施する。 また、突発的な修繕に対応するため、日頃から指定管理者である各市民館運営委員会と連携を図り、施設の状況を常に把握できるように努めていく必要がある。					



会計名 一般会計			青少年健全育成事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	5	5					担当係	青少年係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年を取り巻く環境の整備						
	目的	市内小・中・高等学校、関係機関で組織する児童生徒愛護会の活動を中心に、児童生徒の生活指導、安全確保等の取組を行い、青少年の健全育成を図る。	主たる内容	○夏季・冬季休業中、テスト期間中、夜間等街頭補導の実施 ○児童生徒愛護の集いの開催 ○善行美徳表彰の実施 ○家庭の日・青少年作文コンクール、家族への手紙コンクールの実施 ○青年学級の開設ほか青少年の健全育成を図る事業の実施					
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	市民		事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・児童生徒愛護会定例会 3回（書面により実施） ・善行美徳表彰 21件22人 ・危険箇所調査 102箇所 ・合同街頭補導 延べ370日		・児童生徒愛護会定例会 3回（2回は書面により実施） ・善行美徳表彰 21件21人 ・危険箇所調査 133箇所 ・各種作文コンクール 1,395通 ・合同街頭補導 延べ356日		・児童生徒愛護会定例会 3回 ・中学校区生活指導懇談会 延べ320人 ・児童生徒愛護の集い 764人 ・善行美徳表彰 21件25人 ・危険箇所調査 93箇所 ・各種作文コンクール 936通 ・合同街頭補導 延べ279日 ・少年の主張愛知県大会		・児童生徒愛護会定例会 ・中学校区生活指導懇談会 ・児童生徒愛護の集い ・善行美徳表彰 ・危険箇所調査 ・各種作文コンクール ・合同街頭補導	
成果		児童生徒愛護会では学校、家庭、地域における青少年育成について情報共有を図り、共通の認識を得ることができた。また少年の主張愛知県大会では、中学生をはじめとした市民が県内の代表者の発表を聞き、青少年の健全育成に対する理解を深めることができた。							
課題		新型コロナウイルス感染症の影響下における事業の実施方法を工夫する必要がある。							
O 実績 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度
	活動指標	合同街頭補導（延べ日数）			370	356	279	380	380
成果指標	児童生徒愛護の集い参加者数（人）			—	—	764	200	200	
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,448	1,916	2,876	2,979	合計	2,875,836 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	536,357 円	
		一般財源	1,448	1,916	2,876	2,979	旅費	11,060 円	
	職員人件費 ②		2,688	2,725	3,087	3,138	需用費	1,030,249 円	
	総事業費（①+②）		4,136	4,641	5,963	6,117	役務費	39,600 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0							
4年度		5年度		6年度		7年度		8年度	

会計名			青少年健全育成事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	5	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	街頭補導活動、作文コンクール等各事業を実施することにより、青少年の非行防止や健全育成の推進に寄与することができると考えられ、必要性が高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	児童生徒愛護会は各学校の生徒指導主事等で構成されており、各地域の実情にあわせた取り組みや地域との連携を図ることができる。 学区内危険箇所調査を通学路改善要望と合同で実施し（平成27年度～）、調査や対応検討の効率化を図っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	各事業を実施するにあたっては、学校、家庭、地域及び関係行政機関の連携が必要であるため、市が主体となることが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	生活指導懇談会の開催や合同街頭補導の実施により、学校、家庭、地域が一体となって青少年の健全育成に取り組む環境づくりを推進することができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
青少年を取り巻く環境が大きく変化する中、その時々に対応すべき問題を意識しながら、地域ぐるみで児童生徒の生活指導・安全確保への取り組みを促進できるよう、事業を引き続き実施する。					

会計名			ハツラツかりやっ子育成支援事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	青少年係		
10	5	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	青少年育成							
		施策の内容	青少年を取り巻く環境の整備							
	目的	青少年に自然体験、地域活動、異世代交流等の多様な活動の機会を提供し、地域社会を基盤とした青少年健全育成の環境づくりを推進する。	主たる内容	複数の非営利団体が連携して実施する青少年健全育成に大きな効果が得られる先駆的な事業に対して、1事業10万円を上限として補助金を交付する。						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市民	事業期間	平成16年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		採択1事業 ・「パラソルを使ったかりっぴー創作」（かりがね小学校創立50周年事業実行委員会等）		採択1事業 ・「どろんこ案山子コンテスト」（どろん子道場等）		採択1事業 ・「どろんこ案山子コンテスト」（どろん子道場等）		応募4事業		
成果		補助金を交付することにより、地域社会を基盤とした多様な活動の機会を提供し、家庭や学校及び地域が一体となってハツラツとした子どもを育む環境づくりを支援することができた。								
課題		新型コロナウイルス感染症の影響により応募が少なかったことから、実施可能な催し等について可能性を探る必要がある。また、令和5年度から新規に委嘱があった地域学校協働活動推進員にも広報を行い、周知を図る。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
成果指標	補助対象採択事業数（事業）			1	1	1	4	4		
成果指標	参加者数（人）			887	600	554	700	700		
	他市との比較検証									
C 事業 コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①		100	100	76	400	合計		76,141 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金		76,141 円	
		一般財源	100	100	76	400				
	職員人件費 ②		299	303	452	459				
	総事業費（①+②）		399	403	528	859				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0								
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			ハツラツかりやっ子育成支援事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	5	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	青少年の健やかな育成のために地域団体が自ら企画・運営する事業に対し補助金を支出することは、有意義かつ継続的な活動を支援するために必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	複数の団体が協働して青少年健全育成に関わることで、地域の連携強化につながる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	地域住民及び非営利団体が中心となる活動の活性化につながるため、市が積極的に支援をすることは妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	青少年に多様な活動（自然体験、異世代交流等）の機会を提供し、地域、学校、家庭が一体となった青少年健全育成に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
他の補助金等との整合性を検討しながら、地域、学校、家庭が一体となった青少年健全育成活動を支援する必要がある。					

会計名 一般会計			放課後子ども教室推進事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	5	5					担当係	青少年係		
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	青少年育成							
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進							
	目的	学校、家庭、地域が連携して放課後の子どもの安心・安全な居場所を設け、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	主たる内容	地域の人々の参画を得て、遊びや学習、体験活動、地域住民との交流等の取組を行う放課後子ども教室を開設する。 【体験教室】 ○缶バッジ作り ○クリスマスグッズ作り ○折り紙遊び ○ニュースポーツ ○英語遊び ○ダンス ○キッズヨガ など						
	位置づけ	関連計画		子ども・子育て育成支援事業計画、刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令		刈谷市放課後子ども教室事業実施要綱、刈谷市地域学校協働活動推進員設置要綱						
		対象者	各小学校に在籍する児童	事業期間	平成20年度～					
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B事業実績 D実績 O実績 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		市内全小学校（15校）で実施・開催回数 703回		市内全小学校（15校）で実施・開催回数 884回		市内全小学校（15校）で実施・開催回数 904回		市内全小学校（15校）で実施・開催回数 900回		
成果		地域住民の参画を得て、小学生の安心・安全な居場所を提供することができた。								
課題		・新型コロナウイルス感染症拡大のため、一部の体験教室を中止とした。 ・少人数学級が推進されているため、実施教室の確保が課題となる。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度			
活動指標		登録児童数（人）		952	1,081	1,036	1,100	1,100		
指標										
他市との比較検証		開設状況 碧南市：7校中1校、週3日、知立市：7校中7校、週5日、両市とも小学校の教室で開設。高浜市：5校中5校、週5日、小学校のグラウンドで開設（雨天時は体育館）。安城市：21校中0校（H29年度廃止）								
C事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費①		19,774	23,072	24,062	28,712	合計	24,061,689円		
	財源	特定財源	10,891	13,299	13,812	11,586	報酬	2,574,636円		
		一般財源	8,883	9,773	10,250	17,126	職員手当等	514,926円		
	職員人件費②		3,360	4,921	4,518	4,593	報償費	19,882,512円		
	総事業費（①+②）		23,134	27,993	28,580	33,305	旅費	126,700円		
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称					
	4年度までの累積事業費		0		地域学校協働活動推進事業費補助金（県）					
	6年度以降の事業費見込		0							

会計名			放課後子ども教室推進事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	5	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	児童が心豊かで健やかに育まれる環境整備推進のため、遊び、学び、体験、地域の方々と交流する場として、放課後の安心・安全な居場所を確保することが必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	既存の学校施設を利用すること、また、地域住民にスタッフとして参加いただくことにより、効率的な事業の推進を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	本事業を実施するにあたっては学校関係者との連携、協力が必要であり、行政が主体となって積極的に関与する必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	日常的に交流することが少ない他学年の児童や地域の方々と接する機会ができ、児童の健全育成に大きく寄与している。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	補助金の動向を注視しつつ、地域学校協働活動との兼ね合いを考えながら、今後の運営方法等について検討する必要がある。				

会計名 一般会計			中高生の居場所づくり事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	5	5					担当係	青少年係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	中高生が放課後等に気軽に集まることができる居場所を提供する。また、中高生自らイベントの企画運営に携わることができる機会を提供することにより、中高生の自立を支援する。		主たる内容	放課後等に気軽に立ち寄り、学習や交流ができる中高生のための居場所を提供し、声かけや悩み等の相談対応、自主的な活動への支援を行う。また、大学生をピアカウンセラー（仲間として相談に応じる人）や学習支援スタッフとして配置する。 ○場所 総合文化センター ○開催日 毎週火・木曜日 16時～21時				
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
		根拠法令	子ども・若者育成支援推進法						
		対象者	市内在住または在学の中高生		事業期間	平成22年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・利用者数 延べ329人 ・イベント参加者数 多目的ホール開放 延べ47人		・利用者数 延べ295人 ・イベント参加者数 多目的ホール開放始め 3事業 延べ50人		・利用者数 延べ443人 ・イベント参加者数 多目的ホール開放始め 5事業 延べ99人		・利用者数 延べ450人 ・イベント参加者数 多目的ホール開放始め 5事業 延べ100人	
成果		仲間同士や大学生スタッフとの交流を深める中で、中高生が気軽に立寄ることができる居場所づくりができた。学習支援を併設し、利用目的を増やしたことにより、利用の活性化を図ることができた。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、テスト期間以外も創作活動室を開放した。							
課題		中高生の自主性や社会性を育む自主活動につながるイベント等の仕掛けが必要である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
成果指標		延べ利用者数（人）		329	295	443	450	350	
成果指標		中高生が関わったイベントの回数（回）		6	16	18	18	18	
他市との比較検証		碧南市：類似事業の実施（「ららくるにしばた」学習支援）							
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度 事業費内訳	
	事業費 ①		1,772	2,792	2,820	3,021	合計	2,819,600 円	
	財源	特定財源	282	552	688	545	委託料	2,819,600 円	
		一般財源	1,490	2,240	2,132	2,476			
	職員人件費 ②		1,568	1,590	1,732	1,760			
	総事業費（①+②）		3,340	4,382	4,552	4,781			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		地域学校協働活動推進事業費補助金（県）					
6年度以降の事業費見込		0							



会計名			中高生の居場所づくり事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	5	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	地域でのコミュニケーションの欠如、若者の自立の遅れ等、社会環境が変化中、中高生が気軽に立寄り社会参加できる場所が必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	大学生をピアカウンセラーとして養成し、大学生自身の意識、能力向上に繋げ、またその大学生をスタッフとして配置することで事業の効果が期待できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	中高生が放課後等に気軽に立ち寄るなかで交流を深め、悩みごとを安心して相談できる環境づくりや学習支援の場を提供することが必要であるため、公共施設内に開設し、市が関与することが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	安心して過ごせる居場所を設け、同世代の仲間との交流や悩みの相談等を行うことで、中高生の自立を支援することができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、中高生が放課後に気軽に立寄りすることができる居場所を提供するとともに、ボランティア活動や社会参加を支援する。また、ピアカウンセラーもしくは学習支援員としての大学生スタッフの確保に努めるなど、学習支援を実施し、利用の活性化を図る。					



会計名 一般会計			子ども・若者支援事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	5	5					担当係	青少年係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	青少年育成							
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進							
	目的	ひきこもりやニート等の困難を抱える子ども・若者及びその家族に対し、専門の相談員による相談窓口を開設することで、子ども・若者の健全な育成を図る。 また、子ども・若者支援地域協議会を実施することで、子ども・若者支援機関同士の連携を図る。	主たる内容	○子ども・若者総合相談窓口の実施 対象者 市内在住、在勤又は在学で、概ね40歳までの人及びその家族 場所 子ども相談センター 日時 毎週木曜日 13時15分～19時 毎週土曜日 9時45分～15時45分 ○子ども・若者の居場所 対象者 総合相談窓口と同じ 場所 城町図書館 日時 毎月第2・3・4土曜日 13時30分～16時30分 ○子ども・若者支援地域協議会の実施						
	関連計画									
	根拠法令	子ども・若者育成支援推進法								
	対象者	子ども・若者（概ね40歳まで）		事業期間	令和2年度～					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>相談者数 19人</li> <li>相談回数 76回</li> <li>子ども・若者支援地域協議会開催回数 3回</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>相談者数 26人</li> <li>相談回数 168回</li> <li>子ども・若者支援地域協議会開催回数 4回</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>相談者数 53人</li> <li>相談回数 318回</li> <li>子ども・若者のための居場所開催回数 12回</li> <li>子ども・若者支援地域協議会開催回数 3回</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>相談者数 50人</li> <li>相談回数 300回</li> <li>子ども・若者のための居場所開催回数 36回</li> <li>子ども・若者支援地域協議会開催回数 4回</li> </ul>		
成果		ひきこもりやニートなど社会的困難を抱える子ども・若者の不安や悩みなどを聴き、他の支援機関と連携しながら相談窓口を実施することで、相談者とその家族の悩み解消のための検討や、心理的不安の軽減を行うことができた。								
課題		困難な相談事例への対応のため、ケース検討会議を実施するなど、他機関との連携をさらに充実させる必要がある。また、相談枠の拡充、外出できない相談者のためのアウトリーチやオンラインでの相談、他機関につなぐための同行支援など、相談者目線での支援の拡充を検討する必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		相談回数（回）				76	168	318	300	300
活動指標										
他市との比較検証		豊田市若者サポートステーション：毎週火～日曜日実施 安城市若者相談窓口：毎週水曜日、毎月第1土曜日実施 西尾市子ども・若者総合相談センター：毎週火～土曜日実施								
C 事業コスト 建設事業		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		840	1,607	6,299	7,803	合計 6,298,968 円			
	財源	特定財源	0	0	2,442	1,250	報償費 30,000 円			
		一般財源	840	1,607	3,857	6,553	委託料 6,174,300 円 使用料及び賃借料 94,668 円			
	職員人件費 ②		4,106	3,785	3,765	3,980				
	総事業費（①+②）		4,946	5,392	10,064	11,783				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金</li> <li>生活困窮者就労準備支援事業費等補助金</li> </ul>						
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			子ども・若者支援事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	5	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	社会的困難を抱える子ども・若者の増加が社会問題化したことにより、子ども・若者育成支援推進法のもとで総合相談窓口の体制整備が努力義務とされており、社会需要性が高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		高い	子ども・若者総合相談窓口は、子ども・若者支援に精通したNPO法人に業務委託しており、手段として最適である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	相談内容に生活困窮が含まれるため、無料で相談窓口や居場所を開設することが望ましく、そのためには市が主体となり実施すべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	社会的困難を抱える子ども・若者を支援することで青少年の自立支援と社会参加が図られるため、施策への貢献度は高い。
今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
<p>相談時間外の支援（同行支援・ケース検討会議）や、相談に来られない子ども・若者のためにアウトリーチの実施など、相談体制の拡充の検討が必要となる。また、相談機関どうしの連絡が円滑にできるよう、子ども・若者支援地域協議会による情報交換を活性化させる必要がある。</p>					

会計名			市民休暇村大規模改造事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	5	10								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	老朽化した施設等を更新するとともに、時代の変化や利用者ニーズを的確に捉えたりリニューアルを実施し、施設の利用環境の向上及び市民の福祉の増進を図る。	主たる内容	○内外装、設備及び外構の改修工事 構造：鉄筋コンクリート造 地下1階、地上3階建て 敷地面積：34,310㎡ 延床面積：3,745㎡						
	位置づけ	関連計画	刈谷市公共施設等総合管理計画、刈谷市公共施設維持保全計画							
		根拠法令	刈谷市民休暇村条例、刈谷市民休暇村条例施行規則							
	対象者	市民	事業期間	平成30年度～令和4年度						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		_____		・大規模改造工事		(R3繰越分含む) ・大規模改造工事		_____		
成果		請負者、指定管理者等と調整の上、大規模改造工事を完了することができた。								
課題		リニューアルを生かした広報やイベントの実施などより利用者にとって魅力的な施設運営を行っていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
成果指標		年間客室稼働率（％）		47.9	64.5	88.1	80.0	82.0		
成果指標		宿泊客数（人）		6,534	7,049	9,376	12,000	13,000		
他市との比較検証		尾張旭市「尾張あさひ苑（阿智村）」継続運営 豊田市「リゾート安曇野」H31.3.31廃止済 岡崎市「桑谷山荘」H23.12.31廃止済 碧南市「車山みどり山荘」H23.3.30廃止済								
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費①		0	12,379	949,094	0	合計	949,093,592円		
	財源	特定財源	0	0	613,013	0	需用費	9,261,248円		
		一般財源	0	12,379	336,081	0	委託料	25,296,700円		
	職員人件費②		0	2,271	2,259	0	工事請負費	890,078,805円		
	総事業費（①+②）		0	14,650	951,353	0	備品購入費	24,456,839円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	4年度特定財源名称					
4年度までの累積事業費		0	地方債 公共施設維持保全基金繰入金 令和3年度からの繰越金							
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			市民休暇村大規模改造事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	施設係
10	5	10			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	開館から20年経過した現在でも80%を超える高い稼働率を誇る人気施設であること、また近年の働き方改革などの社会情勢からも市民の余暇の活用を図る目的で設置された市民休暇村の果たす役割は大きいことから、その必要性は高いと判断できる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	公共施設維持保全計画に基づき、開館20年を経過した施設又は設備を計画的に改修し、施設の長寿命化を図るための予防保全を実施するとともに、高い稼働率を維持するための魅力アップ改修を同時に実施し、効率的な投資を実施する。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	宿泊業は民間では成熟した産業であるため、市が実施する必要性は必ずしも高くないが、市が実施することで市民限定の特別な宿泊施設として、高い稼働率に裏付けられる高い市民ニーズに応えることができる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	豊かな自然環境の中、市民の心身の健全な育成と余暇の活用を図るといふ他に類のない市民サービスを提供することができ、市民のワーク・ライフ・バランスの実現を支援する施策に貢献する事業である。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止		
令和4年度事業完了。 事業完了後は、施設管理事業において、リニューアルした施設をしっかりとPRするとともに、新たな施設及び設備を活用した魅力的な管理運営を展開し、コロナ禍前までは80%を超えていた高い稼働率の回復及び更なる拡大を図っていく。					

会計名 一般会計			市民講座開設等事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	5	12					担当係	推進係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	○市民講座の開催 ○大学連携講座（愛知教育大学、名城大学、至学館大学、愛知工業大学）の開催 ○市民講師企画講座の開催 ○刈谷まなびの広場の開催			
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習機会の充実							
	目的	中央生涯学習センターにおいて、市民講座や大学連携講座等各種市民向け講座及びイベントを行い、市民の学習意欲の向上や学習活動への参加促進を図る。								
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令								
		対象者	市内在住・在勤または在学の人など		事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・市民講座 18講座273人受講 ・大学連携講座 愛知教育大学 中止 名城大学 1講座49人受講 至学館大学 中止 愛知工業大学 中止 ・刈谷まなびの広場 14講座225人受講		・市民講座 32講座491人受講 ・大学連携講座 愛知教育大学 2講座57人受講 名城大学 4講座99人受講 至学館大学 1講座20人受講 愛知工業大学 1講座10人受講 ・刈谷まなびの広場 17講座254人受講 3事業136人参加		・市民講座 33講座500人受講 ・大学連携講座 愛知教育大学 2講座15人受講 名城大学 4講座62人受講 至学館大学 1講座43人受講 愛知工業大学 2講座38人受講 ・刈谷まなびの広場 13講座171人受講 3事業287人参加		・市民講座 30講座 ・大学連携講座 2講座 愛知教育大学 4講座 名城大学 1講座 至学館大学 2講座 愛知工業大学 10講座		
成果		・大学教授等による専門的な講座を実施することにより、市民の学習意欲の向上を図ることができた。また大学連携講座の一部をオンラインと会場のハイブリッド方式で開催し、コロナ禍に即した方法で講座を行うことができた。 ・市民講師企画講座を開催することで、市民の学ぶ楽しさから一歩前進した教える喜びを体験してもらえる機会を提供し、教える第一歩を支援することができた。								
課題		・大学連携講座の実施においては大学の協力を得る必要があるため、大学との密な調整を通じて目標値の達成を図るため、引き続き質の高い講座を目指すとともに、定住自立圏域にチラシなどで広く周知し、受講者数を一定数確保するよう努める必要がある。 ・社会情勢や時代に即した内容の講座を企画することで、市民の学習意欲をより一層高められるよう取組む必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度			
成果指標		市民講座の年間受講者数（人）		273	491	500	550	650		
成果指標		大学連携講座の年間受講者数（人）		49	186	158	200	350		
他市との比較検証		各市の講座実施実績より 安城市：公民館講座（10公民館） 163講座、1,910人参加 碧南市：文化教室 36講座、383人参加								
C 事業 コスト 建設 事業		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		12,014	12,102	12,260	12,494	合計	12,259,808 円		
	財源	特定財源	0	23	26	108	役員費	15,264 円		
		一般財源	12,014	12,079	12,234	12,386	委託料	12,116,000 円		
	職員人件費 ②		3,061	2,801	2,485	0	使用料及び賃借料	103,044 円		
	総事業費（①+②）		15,075	14,903	14,745	12,494	負担金、補助及び交付金	25,500 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		講座受講料						
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			<b>市民講座開設等事業</b>	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	推進係
10	5	12			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動の支援をしており、事業の必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		普通	各種講座、生涯学習イベントの開催により市民への多様な学習プログラムの提供、学習意欲の一層の向上や参加促進を効率的に行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	時代の変化と市民ニーズに対応したプログラムの提供、生涯学習イベントの開催など市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	各種講座及び生涯学習イベントを実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き中央生涯学習センターにおいて、市民講座や大学連携講座など各種市民向け講座及び生涯学習イベントを行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。また、今後も市民講師企画講座を行うことで、新たに自らの技能を教えたいと思う市民の発掘を進めるとともに、講座のサポートを行っていく。					



会計名			文化振興事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	推進係	
10	5	12							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	○文化芸術創造の拠点である総合文化センターで、指定管理者が実施する各種の文化普及鑑賞事業を支援する。 ○発表の場としての機能を提供することで、市民の芸術文化活動を支援する。		
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	市民に舞台芸術とふれあう機会を提供し、文化芸術意識の向上を図る。							
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成23年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
BDO 事業実績 計画	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
	22事業(有料20事業・無料2事業)を実施、入場者延11,842人		32事業(有料28事業・無料4事業)を実施、入場者延24,989人		35事業(有料29事業・無料6事業)を実施、入場者延19,804人		30事業(有料25事業・無料5事業)を実施		
	・大ホール利用 261回 40,865人 ・小ホール利用 248回 13,892人 ・リハーサル室1利用 168回 3,462人 ・リハーサル室2利用 229回 3,092人		・大ホール利用 535回 88,479人 ・小ホール利用 380回 20,348人 ・リハーサル室1利用 374回 6,508人 ・リハーサル室2利用 399回 5,790人		・大ホール利用 628回 139,531人 ・小ホール利用 483回 35,486人 ・リハーサル室1利用 383回 11,717人 ・リハーサル室2利用 479回 8,050人				
	成果	・大ホールでの主催事業として、「ブラッド・ブラザーズ」、「挟間美帆&デンマークラジオ・ビッグバンド」などを実施し、多くの市民に鑑賞してもらうことを通じて舞台芸術の普及、振興に寄与することができた。 ・令和3年度に発足した「アイリス少年少女合唱団」の活動を継続することにより、市内外の子どもたちが文化芸術活動に参加し優れた芸術に触れる機会を創出し、次代の担い手育成を図ることができた。							
	課題	・新型コロナウイルスの影響により一部予定事業が中止によって代替公演となったり、実施した事業も座席数を制限しての開催となったため、延べ入場者数はコロナ前をやや下回ったが、引き続き感染対策の徹底を図りながら事業数の確保に努め、過去の実績を踏まえながら入場者数が見込める事業選定を行う必要がある。 ・市民のニーズを捉え、実施内容について検討する必要がある。							
	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
	成果指標	文化振興事業入場者数（人）		11,842	24,989	19,804	25,000	36,000	
成果指標	大ホール稼働率（%）		34.9	64.6	77.2	80.0	85.0		
他市との比較検証	同規模の文化施設等の管理・運営・企画を民間の指定管理者に任せている自治体、施設名、事業数 兵庫県明石市：明石市民会館 48事業								
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		38,279	38,077	34,991	35,214	合計	34,991,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	34,991,000 円	
		一般財源	38,279	38,077	34,991	35,214			
	職員人件費 ②		3,136	3,558	2,786	0			
	総事業費（①+②）		41,415	41,635	37,777	35,214			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			文化振興事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	推進係
10	5	12			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	身近な場所で様々な文化普及・鑑賞事業を開催することで、市民の舞台芸術作品の鑑賞機会に対するニーズを実現している。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	指定管理者による運営を行うことで民間の備えるノウハウを活用し、地方自治体の文化施設では招聘することが難しい事業を開催することに成功している。大規模公演は、共同主催の形で実施することで、リスクを抑えながら質の高い公演を開催している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	文化芸術創造の拠点となることで、「誇りと愛着のもてるまちづくり」施策を実現している。また、普及活動としての市民スタッフ育成事業、市民の発表支援、芸術活動に参加する子どもたちの育成を通じて、「市民が活動しやすい施設・環境づくり」施策を実施している。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	著名なアーティストや、芸術性の高い公演を実施することにより、身近に質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を提供することで市民サービスの向上を図っている。また、センターの知名度向上により、刈谷市の認知度アップに貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
ホールの知名度向上及びシティセールスとして著名な公演の誘致に力を入れるとともに、市民や地域の文化芸術の振興に寄与する公演を今後もバランスよく編成していく。更に、出演者等によるワークショップや講習会などの機会を創出することで、市民や子どもたちの文化芸術活動への参加を支援していく。					



会計名			社会教育主事講習実施事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	推進係	
10	5	1							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	社会教育主事任用資格を取得することで職員の専門性向上を図り、市民の学習活動への取組みを支援する。			主たる内容	講習参加に要する費用を支出する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令	社会教育法						
	対象者	市職員			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		_____		講習参加者 1名		講習参加者 1名		_____	
成果		研修に参加することで、社会教育や青少年教育に携わる社会教育主事の確保に努めることができた。							
課題		人事異動を考慮し職員を定期的に講習に参加させる必要があるが、開催地が遠方の場合には職員の派遣が困難である。							
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度
	活動指標	講習参加			中止	実施	実施	—	実施予定
	指標								
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	58	18	0	合計	17,530 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	旅費負担金、補助及び交付金	8,530 円	
		一般財源	0	58	18	0		9,000 円	
	職員人件費 ②		0	0	0	0			
	総事業費（①+②）		0	58	18	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			P T A 活動育成事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	青少年係		
10	5	1								
P L A 事 業 概 要 計 画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	P T A 会員の教養の向上や相互の親睦を図ることにより、P T A 活動の育成を図る。			主たる内容	P T A 連絡協議会育成補助金を交付し、連絡協議会総会等の開催するほか、日本P T A 全国研究大会や東海北陸ブロック研究大会に参加する。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	刈谷市小中学校 P T A 連絡協議会			事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O 実 績 実 施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>P T A 連絡協議会役員会</li> <li>P T A 連絡協議会女性部研修</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>P T A 情報交換会</li> <li>P T A 連絡協議会女性部研修</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>P T A 連絡協議会総会</li> <li>P T A 情報交換会</li> <li>東海・北陸ブロックP T A 研究大会名古屋大会</li> <li>日本P T A 全国研究大会山形大会</li> <li>県・三河P T A 連絡協議会各種事業</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>P T A 連絡協議会総会</li> <li>P T A 情報交換会</li> <li>東海・北陸ブロックP T A 研究大会福井大会</li> <li>日本P T A 全国研究大会広島大会</li> <li>県・三河P T A 連絡協議会各種事業</li> </ul>		
成果		新型コロナウイルス感染症の影響で各種会議及び大会が軒並み中止となったが、役員会及び女性部研修の実施により、各小中学校のP T A間での交流が図られた。								
課題		活動内容の検討や、学校との協働活動等におけるP T Aの役割について研究が必要である。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標	P T A 総会など各種研修会の実施				実施	実施	継続実施	継続実施	継続実施	
指標										
他市との比較検証										
C 事 業 コ ス ト V	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①		139	226	444	362	合計	444,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	444,000 円		
		一般財源	139	226	444	362				
	職員人件費 ②		821	76	452	689				
	総事業費（①+②）		960	302	896	1,051				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0								
6年度以降の事業費見込		0								

会計名		生涯学習推進事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	生涯学習課		
款	項					目	担当係	推進係	
10	5					1			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	刈谷市生涯学習推進計画に基づき各種事業を実施することで、市民の学習活動への取組みを支援する。			主たる内容	○第3次刈谷市生涯学習推進計画における進捗管理 ○生涯学習に関する研修会の開催			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
			根拠法令						
		対象者	市民等		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習推進会議</li> <li>第3次刈谷市生涯学習推進計画における目標値の見直し</li> <li>職員研修会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習推進会議</li> <li>職員研修会</li> <li>指導者等研修会</li> <li>生涯学習リーダーステップアップ講座</li> <li>生涯学習リーダー基礎知識講座（受講者9人）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習推進会議</li> <li>職員研修会</li> <li>生涯学習リーダーステップアップ講座</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習推進会議</li> <li>職員研修会</li> <li>指導者等研修会の実施</li> <li>生涯学習リーダーステップアップ講座</li> <li>生涯学習リーダー基礎知識講座</li> </ul>	
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>職員を対象とした研修会を実施し、生涯学習についての理解の促進及び意識向上を図ることができた。</li> <li>生涯学習リーダーステップアップ講座を開催し、生涯学習リーダーの資質向上に資することができた。</li> </ul>							
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習活動を推進する生涯学習リーダーの活動が継続して行われるよう、引き続き支援をする必要がある。</li> </ul>							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
成果指標	生涯学習推進員（生涯学習リーダー）の人数（人）		27	24	28	30	35		
成果指標	グループ・サークル名簿登録団体数（団体）		130	129	134	140	150		
C 事業コスト	他市との比較検証								
	単位：千円	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
財源	事業費 ①	94	189	100	553	合計	99,800 円		
	特定財源	0	0	0	0	報償費	99,800 円		
	一般財源	94	189	100	553				
	職員人件費 ②	4,181	4,315	3,915	0				
	総事業費（①+②）	4,275	4,504	4,015	553				
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
	4年度までの累積事業費		0						
	6年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			公共施設予約案内システム管理事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	5	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	公共施設の空き状況の確認、利用予約などの手続きがインターネットで可能となるシステムを運用する。	主たる内容	○公共施設予約案内システムの管理					
	位置づけ	関連計画		刈谷市生涯学習推進計画					
			根拠法令	刈谷市公共施設予約案内システムに関する規則、刈谷市教育委員会公共施設予約案内システムに関する規則					
			対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成13年度～			
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					
	BDO 事業実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・運用保守管理委託 一般施設等 40施設 ・機器リース		・運用保守管理委託 一般施設等 40施設 学校ｽﾍﾟｰｽ開放施設 21校 ・機器リース		・運用保守管理委託 一般施設等 40施設 学校ｽﾍﾟｰｽ開放施設 21校 ・機器リース		・運用保守管理委託 一般施設等 40施設 学校ｽﾍﾟｰｽ開放施設 21校 ・機器リース（更新）	
成果		利用者は公共施設を利用するに当たり、予約手続きが容易になるとともに、施設側では使用料の現金収納が減ること、事務の簡素化及び現金の紛失・盗難のリスクを回避することができた。							
課題		システムの利用推進を図るため、予約案内システムを広く周知し、システムによる予約申込件数を増加させる。							
指標		指標名称（単位）		実績値			目標値		
成果指標	システムによる施設予約申込件数（件）		2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
指標			96,405	112,282	108,569	110,000	110,000		
他市との比較検証	あいち共同利用型施設予約システム：安城市、知立市始め県内28市町 独自システム：碧南市、刈谷市ほか								
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		12,323	14,088	13,771	25,967	合計	13,770,778 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	877,690 円	
		一般財源	12,323	14,088	13,771	25,967	役務費	155,052 円	
	職員人件費 ②		2,128	1,401	1,393	3,177	委託料	10,922,340 円	
	総事業費（①+②）		14,451	15,489	15,164	29,144	使用料及び賃借料	1,815,696 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			公民館事務費事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	5	1					担当係	推進係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	公民館活動の功績が顕著な方の表彰や県が実施する事業へ参加することにより、公民館事業の円滑な実施を図る。			主たる内容	中央公民館長表彰に要する経費のほか、県が実施する公民館関係事業へ参加するための経費を支出する。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市民		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館長表彰 8名</li> <li>県公民館連合会理事会</li> <li>県公民館主事部会代表者会</li> <li>県公民館連合会総会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館長表彰 7名</li> <li>県公民館連合会理事会</li> <li>県公民館主事部会代表者会</li> <li>県公民館連合会総会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館長表彰 8名</li> <li>県公民館連合会理事会</li> <li>県公民館主事部会代表者会</li> <li>県公民館連合会総会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館長表彰 9名</li> <li>県公民館連合会理事会</li> <li>県公民館主事部会代表者会</li> <li>県公民館連合会総会</li> </ul>		
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館長表彰の実施により、多年にわたる公民館活動への取組みを広く知らしめるとともに、他の者への活動の励みとすることができた。</li> <li>県の主催する公民館関係事業や研修へ参加することにより、各市町の活動状況などを把握することができた。</li> </ul>								
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年総合式典に合わせて行われる中央公民館長表彰の対象者数により、記念品費などが増減する。</li> <li>県の各種会議での報告は、会議へ直接参加しなくても書面やオンラインで十分な場合があることを踏まえ、事務の軽減を検討する必要がある。</li> </ul>								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		中央公民館長表彰実施及び各種会議参加				実施	実施	実施	継続実施	継続実施
指標										
他市との比較検証										
C 事業 コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		71	39	46	85	合計	45,792 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	16,000 円		
		一般財源	71	39	46	85	旅費	1,720 円		
	職員人件費 ②		1,792	2,915	1,656	0	需用費	6,072 円		
	総事業費（①+②）		1,863	2,954	1,702	85	負担金、補助及び交付金	22,000 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0								
6年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			公民館運営事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	5	1					担当係	推進係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	計画推進							
		基本施策	参加・協働							
		施策の内容	地域活動の推進							
	目的	公民館活動の運営を行い、地区活動の活性化を図り、社会教育の活性化を目指す。			主たる内容	○公民館運営委託 ○備品購入補助 ○公民館連絡協議会補助 ○公民館役員（館長・主事・書記）への謝礼				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	地区公民館備品等整備事業補助金交付要綱							
		対象者	市民		事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・公民館運営委託（23地区） ・公民館備品購入補助（22地区） ・公民館連絡協議会補助 ・公民館役員（館長・主事・書記）への謝礼		・公民館運営委託（23地区） ・公民館備品購入補助（20地区） ・公民館連絡協議会補助 ・公民館役員（館長・主事・書記）への謝礼		・公民館運営委託（23地区） ・公民館備品購入補助（19地区） ・公民館連絡協議会補助 ・公民館役員（館長・主事・書記）への謝礼		・公民館運営委託（23地区） ・公民館備品購入補助 ・公民館連絡協議会補助 ・公民館役員（館長・主事・書記）への謝礼		
成果		・各地区公民館へ事業委託及び備品購入補助を行い、公民館活動の活性化を推進した。 ・備品購入補助対象をコロナ対策備品も可能となるよう拡大し、新型コロナウイルス感染拡大防止と公民館活動との両立を図った。								
課題		・各地区の特性を生かした活動が行えるよう、引き続き支援に努める必要がある。								
O 実施 V	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
	活動指標	公民館活動事業数（事業）			61	73	123	160	165	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①		22,548	22,344	22,144	23,890	合計	22,143,683 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	7,715,516 円		
		一般財源	22,548	22,344	22,144	23,890	役務費	89,700 円		
	職員人件費 ②		2,912	3,634	3,614	0	委託料	11,170,000 円		
	総事業費（①+②）		25,460	25,978	25,758	23,890	負担金、補助及び交付金	3,168,467 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0								
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			集会所設置等補助事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	5	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	集会所の管理に必要な経費の一部を補助することにより、地域活動の活性化及び生涯学習の推進を図る。				主たる内容	○集会所借地料補助 ○集会所運営費補助 ○集会所修繕費補助			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	集会所設置等補助金交付要綱							
		対象者	市民			事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>集会所運営費補助（33か所）</li> <li>集会所借地料補助（9か所）</li> <li>集会所修繕費補助</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>集会所運営費補助（33か所）</li> <li>集会所借地料補助（9か所）</li> <li>集会所修繕費補助</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>集会所運営費補助（33か所）</li> <li>集会所借地料補助（9か所）</li> <li>集会所修繕費補助</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>集会所運営費補助（33か所）</li> <li>集会所借地料補助（9か所）</li> <li>集会所修繕費補助</li> </ul>		
成果		集会所の維持管理に要する運営費、借地料及び修繕費を補助することにより、地域住民の負担を軽減し、地域活動の拠点の確保に寄与した。								
課題		今後も集会所管理者への制度周知を実施し、集会所の維持に貢献する。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標		集会所修繕費補助件数（件）			6	3	4	4	4	
成果指標		補助により運営を維持できた集会所数（箇所）			33	33	33	33	33	
他市との比較検証		類似事例なし								
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		11,130	9,688	10,544	10,618	合計 10,544,476 円			
	財源	特定財源	7	7	7	7	負担金、補助及び交付金 10,544,476 円			
		一般財源	11,123	9,681	10,537	10,611				
	職員人件費 ②		1,381	1,401	1,393	1,033				
	総事業費（①+②）		12,511	11,089	11,937	11,651				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		土地建物貸付収入						
6年度以降の事業費見込		0								



会計名 一般会計			キッズクラブ事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	5	5					担当係	青少年係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	週末に子どもの安心・安全な活動拠点を設け、遊び、文化活動等の体験活動を通じ、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	主たる内容	小・中学生を対象に市内3か所の生涯学習センターでキッズクラブを開設し、子どもたちが安心して集うことができる居場所を提供する。 ○開催場所 ・たんぼぼ 南部生涯学習センター ・アイリス 総合文化センター ・かきつばた 北部生涯学習センター ○開催日 6月から3月までの土曜日					
	関連計画								
	根拠法令	刈谷市キッズクラブ事業実施要綱							
	対象者	市内在住の小・中学生		事業期間	平成17年度～				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		【参加者延べ人数】 ・たんぼぼ 238人 ・アイリス 146人 ・かきつばた 64人 合計 448人		【参加者延べ人数】 ・たんぼぼ 361人 ・アイリス 252人 ・かきつばた 133人 合計 746人		【参加予定人数】 ・たんぼぼ 311人 ・アイリス 267人 ・かきつばた 109人 合計 687人		【参加予定人数】 ・たんぼぼ 300人 ・アイリス 300人 ・かきつばた 200人 合計 800人	
成果		創作活動、自然体験など、様々な活動を通して地域住民や異世代交流を図るとともに、週末の安心・安全な居場所を提供することができた。							
課題		新型コロナウイルス感染症拡大のため、調理系のプログラムで材料を渡すのみとなるなどの影響があった。感染拡大時における事業実施方法及び代替となるプログラムについて検討する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標	開催数（回）		49	62	61	65	65		
成果指標	参加者数（人）		448	746	687	800	800		
他市との比較検証	高浜市は1校のみPTA土曜クラブに委託し、家庭科、書道、剣道、ちぎり絵、フルートの5クラブ制で開催している。								
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		2,177	2,794	2,748	2,866	合計	2,748,204 円	
	財源	特定財源	910	1,168	1,104	930	委託料	2,748,204 円	
		一般財源	1,267	1,626	1,644	1,936			
	職員人件費 ②		1,195	1,211	1,958	1,990			
	総事業費（①+②）		3,372	4,005	4,706	4,856			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		地域学校協働活動推進事業費補助金（県）					
6年度以降の事業費見込		0							



会計名 一般会計		ボーイスカウト日本ジャンボリー参加補助 事業				担当部	教育部	
款	項					目	担当課	生涯学習課
10	5	5			担当係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化					
		基本施策	青少年育成					
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進					
	目的	国内外の参加スカウトが一堂に会し、多様な体験や交流活動を行うことにより、青少年の健全育成を図るとともに、国際感覚を養い国際理解の向上を促す。	主たる内容	スカウト運動最大の教育イベントとして約4年ごと（前回は平成30年度）に開催され、各団代表スカウト及び指導者等の参加に対し補助金を交付する。 第18回日本スカウトジャンボリー 令和4年8月5日から8月10日 新城市				
	位置づけ	関連計画						
		根拠法令						
		対象者			事業期間	～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画
		_____		_____		スカウト参加者数 5人 指導者参加者数 1人		_____
成果		参加スカウトは日ごろの訓練の成果を遺憾なく発揮し、多くの仲間との相互交流を図るとともに、長期間にわたる野営生活での経験で大きく成長できた。						
課題								
指標名称（単位）				実績値		目標値		
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度
活動指標	参加者数（人）			—	—	6	—	—
活動指標								
他市との比較検証								
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	85	0	合計 85,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 85,000 円	
		一般財源	0	0	85	0		
	職員人件費 ②		0	0	8	0		
	総事業費（①+②）		0	0	93	0		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称		
4年度までの累積事業費		0						
6年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			青年講座開催事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	5	5					担当係	青少年係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	青少年育成							
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進							
	目的	青年層に多様な学習・体験活動の機会の場を提供し、生涯学習の推進を図る。			主たる内容	碧海5市在住または市内在勤・在学の18～39歳を対象に、文化・芸術・福祉・スポーツなどの各種講座を開催する。				
	位置づけ	関連計画		根拠法令						
	対象者	18～39歳の青年層			事業期間	平成7年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・青年講座3期21回 第1期 はじめてのチョークアート 8回 第2期 おうち時間を彩る季節のハンドメイド講座 5回 第3期 やってみよう！Webプログラミングはじめの一步 8回 受講生延べ165人		・青年講座3期14回 第1期 はじめてのドライフラワーアレンジ講座 5回 第2期 こころと身体をつなぐヨガ 8回 第3期 秒で作れるパワポワーショップ 1回 受講生延べ142人		・青年講座3期16回 第1期 癒しのアロマクラフト&ケア講座 6回 第2期 基礎から学ぼう！ドローン講座 3回 第3期 季節のフードアート講座 7回 受講生延べ156人		・青年講座3期24回		
		成果	青年層に多様な学習、体験活動の機会の場を提供することができた。							
課題		新型コロナウイルス感染症の影響下でも実施可能な講座について検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標	募集案内配布事業所数（か所）			33	33	33	33	33		
成果指標	受講者数（人）			28	37	33	45	45		
他市との比較検証										
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①		398	227	240	554	合計	240,250 円		
	財源	特定財源	19	17	20	64	報償費	156,000 円		
		一般財源	379	210	220	490	使用料及び賃借料	84,250 円		
	職員人件費 ②		2,389	2,423	2,409	2,449				
	総事業費（①+②）		2,787	2,650	2,649	3,003				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		青年講座受講料						
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			成人式開催事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	青少年係		
10	5	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	青少年育成							
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進							
	目的	刈谷市二十歳の集い実行委員会との共催で二十歳の集いを開催し、二十歳の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする意欲の向上を図る。			主たる内容	二十歳になる者の中から実行委員会を組織し、式の企画及び運営を行い、心に残る二十歳の集いを開催する。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	二十歳の者			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		開催日 令和3年1月10日 会場 総合文化センター 対象者数 1,913名 参加者数 1,261名 ※新型コロナウイルス感染症の影響により2部制で開催		開催日 令和4年1月9日 会場 総合文化センター 対象者数 1,765名 参加者数 1,239名 ※新型コロナウイルス感染症の影響により2部制で開催		開催日 令和5年1月8日 会場 総合文化センター 対象者数 1,685名 参加者数 1,205名 ※今年度から成年年齢引下げにより「二十歳の集い」に名称変更して開催 ※新型コロナウイルス感染症の影響により2部制で開催		※二十歳の集い開催事業へ移行		
成果		二十歳の集いを行うことにより、参加者が恩師や旧友らと話し合う機会となり、大人として今後どのように生きていくかを語るきっかけとなった。実行委員会により自主的な式の企画・運営を行うことにより、社会参加の機会を提供することができた。								
課題		実行委員の募集について学校の推薦に頼るところが多く、学校側の負担感が増しているため、公募及び紹介による確保に移行できるよう実行委員会の魅力発信に検討を要する。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
成果指標		協力ボランティア(実行委員OB・次年度実行委員)の参加人数(人)			36	28	23	40	40	
成果指標		二十歳の集い参加率(%)			65.9	70.2	71.5	72	72	
他市との比較検証		碧南市、安城市、知立市、高浜市、東浦町は実行委員会を組織し、実施している。								
C 事業コスト		単位：千円		2年度(決算)	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(予算)	4年度事業費内訳		
	事業費①		4,365	4,203	4,044	0	合計 4,044,367円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料 3,435,237円			
		一般財源	4,365	4,203	4,044	0	使用料及び賃借料 609,130円			
	職員人件費②		6,346	5,300	5,647	0				
	総事業費(①+②)		10,711	9,503	9,691	0				
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0								
6年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			施設管理事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	5	10					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	指定管理者により、適切に市民休暇村の管理運営を行い、市民の福祉の増進を図る。	主たる内容	○市民休暇村の管理運営						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令		刈谷市民休暇村条例、刈谷市民休暇村条例施行規則						
		対象者		市民	事業期間	平成10年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		
成果		指定管理者により適切に施設の管理運営を行い、コロナ禍に落ち込んだ客室稼働率を徐々に回復することができ、市民の福祉の増進を図ることができた。								
課題		指定管理者の管理運営に対するモニタリング、指導、助言を行い、リピーターを大切にしつつ、リニューアルを契機とした新規利用者の獲得に努めるなど稼働率の回復及び拡大を図る必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
成果指標		年間客室稼働率（％）	47.9	64.5	88.1	80.0	82.0			
成果指標	ふれ愛パーク利用者数（人）	625	500	636	650	700				
他市との比較検証	尾張旭市「尾張あさひ苑（阿智村）」継続運営 豊田市「リゾート安曇野」H31.3.31廃止済 岡崎市「桑谷山荘」H23.12.31廃止済 碧南市「車山みどり山荘」H23.3.30廃止済									
C 事業 コスト	単位：千円	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳				
	事業費①	100,768	89,247	92,871	113,101	合計	92,871,229円			
	財源	特定財源	1	2	2	11	旅費	27,720円		
		一般財源	100,767	89,245	92,869	113,090	役務費	61,042円		
	職員人件費②	2,091	1,514	1,732	1,186	委託料	87,073,000円			
	総事業費（①+②）	102,859	90,761	94,603	114,287	使用料及び賃借料	3,250,907円			
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		4年度特定財源名称			負担金、補助及び交付金	2,458,560円		
	4年度までの累積事業費	0		行政財産目的外使用料						
	6年度以降の事業費見込	0								

会計名 一般会計			南部生涯学習センター施設管理事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	5	11					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	指定管理者により、適切に施設の管理運営を行い、安全で快適に利用できる生涯学習施設を提供する。	主たる内容	○南部生涯学習センターの管理運営						
	位置づけ	関連計画		刈谷市生涯学習推進計画						
			根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成13年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		
成果		市民の生涯学習の拠点として、指定管理者により適切に施設の運営管理を行い、生涯学習を推進した。								
課題		利用者の意見を反映し、一層の利用率の向上を図り、より良い施設運営を継続する。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
成果指標	南部生涯学習センター稼働率（％）		29.0	36.3	37.1	38.0	40.0			
成果指標	南部生涯学習センター利用者数（人）		25,914	36,473	40,191	42,000	43,000			
他市との比較検証										
C 事業コスト V	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費①		82,083	86,190	94,543	106,285	合計	94,543,386円		
	財源	特定財源	6,941	8,239	8,445	9,377	需用費	24,568,281円		
		一般財源	75,142	77,951	86,098	96,908	役務費	81,395円		
	職員人件費②		1,717	1,287	1,506	1,454	委託料	68,207,761円		
	総事業費（①+②）		83,800	87,477	96,049	107,739	使用料及び賃借料	1,389,719円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		南部生涯学習センター使用料						
6年度以降の事業費見込		0		行政財産目的外使用料 土地建物貸付収入						
						備品購入費	296,230円			

会計名			北部生涯学習センター施設管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	5	11								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	指定管理者により、適切に施設の管理運営を行い、安全で快適に利用できる生涯学習施設を提供する。	主たる内容	○北部生涯学習センターの管理運営						
	位置づけ	関連計画		刈谷市生涯学習推進計画						
			根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成20年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		
成果		市民の生涯学習の拠点として、指定管理者により適切に施設の管理運営を行い、生涯学習を推進した。								
課題		利用者の意見を反映し、一層の利用率の向上を図り、より良い施設運営を継続する。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度			
成果指標	北部生涯学習センター稼働率（%）		24.7	32.3	31.7	32.0	35.0			
成果指標	北部生涯学習センター利用者数（人）		35,219	47,673	51,603	52,000	55,000			
他市との比較検証	知立市文化会館 花しょうぶホール 293席 安城市アンフォーレ ホール 255席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席									
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費①		98,009	101,507	109,393	122,323	合計	109,392,826円		
	財源	特定財源	11,051	13,580	15,412	17,003	需用費	997,920円		
		一般財源	86,958	87,927	93,981	105,320	役務費	51,947円		
	職員人件費②		1,717	908	1,506	765	委託料	106,750,379円		
	総事業費（①+②）		99,726	102,415	110,899	123,088	備品購入費	1,592,580円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		北部生涯学習センター使用料 行政財産目的外使用料						
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			南部生涯学習センター施設改修事業				担当部	教育部
一般会計							担当課	生涯学習課
款	項	目					担当係	施設係
10	5	11						
P L A N の 計 画 要 素	総合計画 施策体系	分野	教育文化					
		基本施策	生涯学習					
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進					
	目的	南部生涯学習センターの施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。		主たる内容	○施設又は設備の改修工事 ○施設又は設備の劣化状況調査			
	位置づけ	関連計画 刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市公共施設等総合管理計画、刈谷市公共施設維持保全計画 根拠法令 刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則						
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	D の 実 績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画
		・空調機（7台）取替 ・屋上防水改修 ・駐輪場増設 ・外壁調査		・空調機（18台）取替 ・給湯温水設備改修 ・駐車場等整備 ・喫煙室撤去		・空調機（14台）取替 ・外壁改修 ・屋上防水改修		・焼成室内排風機修繕 ・館内室名サイン改修 ・KARIYA FREE Wi-Fi整備
		成果	老朽化した施設又は設備を補修し、施設を良好な状態に保ち、安全で快適な施設を維持することができた。					
課題		施設又は設備の老朽化に伴い、計画的かつ適切に改修を行っていく必要がある。						
指標名称（単位）			実績値			目標値		
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
成果指標	南部生涯学習センター稼働率（％）		29.0	36.3	37.1	38.0	40.0	
成果指標	南部生涯学習センター利用者数（人）		25,914	36,473	40,191	42,000	43,000	
C の 実 績	他市との比較検証							
	単位：千円	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
財 源 コ ス ト	事業費 ①		9,192	40,758	75,044	2,723	合計 75,044,200 円 工事請負費 75,044,200 円	
	特定財源	0	13,000	36,000	0			
		一般財源	9,192	27,758	39,044	2,723		
	職員人件費 ②		1,232	1,022	151	1,607		
	総事業費（①+②）		10,424	41,780	75,195	4,330		
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
	4年度までの累積事業費		0		公共施設維持保全基金繰入金			
	6年度以降の事業費見込		0					



会計名			北部生涯学習センター施設改修事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	5	11								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	北部生涯学習センターの施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。			主たる内容	○施設又は設備の改修工事 ○施設又は設備の修繕				
	位置づけ	関連計画 刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市公共施設等総合管理計画、刈谷市公共施設維持保全計画								
		根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	D 実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>メインホール緞帳修繕</li> <li>空調設備自動制御装置取替</li> <li>自家発電機始動用蓄電池取替</li> <li>電話交換機取替</li> <li>メインホール及び多目的ホール音響設備改修</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場改修</li> <li>音響改修</li> <li>中央監視UPS取替</li> <li>点検口設置</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>多目的ホール他LAN設置</li> <li>メインホール雨水管改修</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>浄化槽調整槽用送風機取替</li> <li>浄化槽自動微細目スクリーン取替</li> <li>主変電所等電気整備改修</li> <li>自動制御装置取替</li> </ul>		
成果		老朽化した施設又は設備を改修し、施設を良好な状態に保ち、安全で快適な施設を維持することができた。								
課題		県が平成2年に開館した施設（愛知県勤労福祉会館）の譲渡を受け、市が生涯学習センターとして転用利用している施設であるため、施設又は設備の老朽化により不具合が生じている。適切な時期に予防保全を実施し、長寿命化を図る必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度			
成果指標	北部生涯学習センター稼働率（％）		24.7	32.3	31.7	32.0	35.0			
成果指標	北部生涯学習センター利用者数（人）		35,219	47,673	51,603	52,000	55,000			
他市との比較検証	知立市文化会館 花しょうぶホール 293席 安城市アンフォーレ ホール 255席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席									
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①		16,799	4,473	9,322	5,896	合計 9,321,620 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料 621,280 円			
		一般財源	16,799	4,473	9,322	5,896	工事請負費 7,978,960 円			
	職員人件費 ②		1,232	1,022	1,242	1,378	備品購入費 721,380 円			
	総事業費（①+②）		18,031	5,495	10,564	7,274				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0								
6年度以降の事業費見込		0								



会計名 一般会計			施設改修事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	5	12					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	総合文化センターの施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。	主たる内容	○施設又は設備の改修工事					
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市文化振興基本計画、刈谷市公共施設等総合管理計画ほか						
		根拠法令	刈谷市総合文化センター条例、刈谷市民ホール条例、刈谷市生涯学習センター条例ほか						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	令和4年度 ~ 令和4年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		_____		_____		・駐車場棟屋外連絡通路庇改修 ・大・小ホール等LAN配線敷設		_____	
成果		老朽化対策、社会に求められる機能追加などを目的として施設や設備を改修し、安全で快適な施設を維持することができた。							
課題		施設又は設備の老朽化に伴い、計画的かつ適切に改修を行っていく必要がある。							
指標		指標名称（単位）	実績値			目標値			
		2年度	3年度	4年度	5年度	7年度			
成果指標	大ホール稼働率（%）	34.9	64.6	77.2	80.0	80.0			
成果指標	総合文化センターに対する満足度（%）	97.9	98.2	97.6	98.0	98.0			
他市との比較検証	知立市民文化会館 かきつばたホール 1,004席 安城市民会館 サルビアホール 1,200席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席 岡崎市民会館 あおいホール 1,100席								
C 事業 コスト	単位：千円	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費①	0	0	4,714	0	合計	4,713,940円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	40,810円	
		一般財源	0	0	4,714	0	役務費	36,410円	
	職員人件費②	0	0	1,920	0	委託料	1,793,000円		
	総事業費（①+②）	0	0	6,634	0	工事請負費	1,827,100円		
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		4年度特定財源名称					
	4年度までの累積事業費	0							
	6年度以降の事業費見込	0							
						備品購入費	1,016,620円		